

平成25年度「使える英語プロジェクト事業」公開授業及び研究協議会の報告書

市町村名 吹田市

実践研究校名 竹見台中学校

【公開授業】公開日：平成25年12月6日

対象学年：第2学年

(教材・教科書名) SUNSHINE My Project5をもとに (単元名) “My dream”	(本時の指導の目標) ・気持ちをこめて自分の思いを相手に伝えられるようにする。 ・人のスピーチを聞いて、それについて質問できるようにする。 ・自分で既習の文法や表現を使って質問を考えて、尋ねられるようにする。
---	---

(本時の授業において工夫した点)

- ・自分の夢を語る時に助けになる(speaker 向け)視覚補助用ポスターと、聞き手がわかりやすいような(listener 向け)視覚補助用ポスターを作製した。
- ・単なるスピーチの言い合いにならないように、自然な会話で伝え合う、聞き合う表現を教えた。

(授業を終えた教員の感想)

- ・パートナーの聞きたいこと、伝えたいことを生徒たちはきちんと理解して、その場に応じたリアクションや受け答えができており、場面を設定すること、その場面に適した表現を教え、練習を重ねることの重要性を改めて実感した。

【研究協議会】

(テーマ) 外国語活動から英語科へのスムーズな連携と9年間のカリキュラム研究	(指導・助言者) 大阪成蹊大学 マネジメント学部マネジメント科学部長 國方 太司 先生
---	---

(研究協議会で出された意見)

- ・「相手とのコミュニケーションを図ろうとしているか」に主眼をおいて指導していることがよくわかる授業だった。
- ・英語を聞く姿勢が身につけているのは、小中一貫教育の表れだと感じた。
- ・JTEとALTのチームワークが良く、役割分担もはっきりしていた。
- ・授業の中で教師が英語をたくさん使い、コミュニケーションをとることの大切さを感じた。

(まとめ)

1. 小学校での英語に対する音の気付きを生かして、音の作り方をわかりやすく教え、日本語と英語の音の違いを理解させる。
2. 文字認識に個人差があることを踏まえて、文字指導を丁寧に、計画的に行う。
3. 聞いて理解でき、言えるようになってから「読む」「書く」に進むという指導手順を守る。日本語での説明は簡潔に短く。
4. コミュニケーションはメッセージのやりとりであることを意識して、コミュニケーションと結びつく文法指導と習熟練習を行う。
5. 小学校で培った気付きや発見をさらに生かして、発達段階に応じて日本語と英語の様々な違いや文化の違いに気付かせ、考えさせ、社会的な問題に対して積極的に関わる態度を養う。
6. 類推しながら学習する、英語を使いながら学ぶために、以前よりレベルをあげたリスニング活動や表現活動に取り組む。
7. 家庭学習の仕方を指導するとともに、様々な社会資源を利用して英語を学ぶ方法を紹介する。